



左：卸売事業
右：加工事業

- 本社所在地：広島県福山市神辺町
- 事業概要：鶏肉の卸売販売および加工
- 常時使用する従業員：31名
(2025年3月時点)
- 現在の売上高：33億円
(2025年3月期)
- 法人番号：6240001029637
- Web：https://www.apexfoods.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
高橋 征志

食卓から、地域の健康に寄与する

アペックスフーズは、1977年の設立以来、鶏肉専門の卸売業者として地域の食卓を支えてまいりました。卸売業に加えて加工食品の製造を手がける「ハイブリッド型」の事業構造は各県に1社もない当社独自のポジションです。5年連続の健康経営優良法人認定・ブライト500の授与、6年間退職者ゼロという組織力を基盤に、新工場建設・新市場参入・M&Aを成長の柱として、2035年に売上高100億円超を達成します。中国地方では地場食肉卸の廃業が加速しています。当社がM&Aの受け皿となり、卸売×加工のハイブリッド型モデルと健康経営のノウハウを統合先に展開することで、地域の食のインフラと雇用を守りながら成長してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年に売上高100億円超を達成。新工場建設により加工事業を本格拡大し、卸売×加工のハイブリッド型事業モデルを深掘り。DX基盤を構築した上で、そのモデルを地場食肉卸のM&Aや垂直統合で横展開し、中国地方全域に商圏を拡大する。

課題

- ① 加工事業の生産能力不足（実需に対する供給不足）
- ② 品質保証体制の未整備（病院食・介護食市場への参入障壁）
- ③ 業界再編の加速（中小食肉卸の淘汰が進行）
- ④ 製造部門のデジタル化の遅れ

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ① 新工場建設により処理能力を拡大し、加工事業を本格展開
- ② 異物混入ゼロ保証体制の確立により病院食・介護食市場へ参入
- ③ 地場食肉卸のM&A・垂直統合で商圏拡大
- ④ DX基盤の構築により生産管理・トレーサビリティをデジタル化

実施体制

- ・常務取締役（後継者）である高橋大登の直轄プロジェクトチームを設置し、新工場建設・加工事業拡大・M&Aを一体推進
- ・加工から配送まで可能なハイブリッド型事業体系を深化させ、卸売の顧客接点から加工ニーズを吸い上げ、新工場の製品開発・生産に直結させる一気通貫体制を構築
- ・健康経営の知見を活かしたシニア人材の計画的採用と、シルバー人材センター連携による持続的な人材定着基盤の強化
- ・生産管理・品質管理・トレーサビリティをデジタル化。M&A後の統合先にも同じ基盤を展開し、スムーズな経営統合を実現する

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現に向けた課題と目標

現状の課題

売上高100億円到達に向けて解決すべき4つの壁

生産能力の不足による機会損失

年間約4億円の機会損失が発生し、地域スーパーの成長に伴う需要増に対応できていない。

業界再編の加速

中小食肉卸の再編が進行している。当社が築いてきた独自のポジションを維持・拡大するには、自ら統合する側に立つ必要がある。

品質保証体制の未整備

病院食・介護食市場が求める異物混入ゼロ保証に対応できず、成長市場への参入機会を逃している

製造部門のデジタル化の遅れ

原料・ロット・製造量の管理が紙ベースで、製造原価の正確な把握や卸売部門とのデータ連携ができていない。

卸売・加工ハイブリッド型事業の深化

課題への具体的な対策を通じて売上高100億への道筋を定める

新工場建設

加工処理能力を約3倍に拡大。半調理品ラインと品質保証体制を整備し、病院食・介護食市場への参入基盤を構築。

M&Aによる事業基盤の拡大

地場食肉卸のM&A・垂直統合により、商圏を中国地方全域に拡大。

DX化された基盤の構築

生産管理・トレーサビリティをデジタル化し、品質保証体制の確立。M&A統合先にも展開できる標準モデルとする。

M&A統合モデル

買収先と共に4つの強みで更に大きく成長

① 加工機能の付加 → 利益率の改善

製造先の取引先に対し、半調理品を加工して卸すことで、卸売単体より高い利益率を実現。同じ顧客から得られる粗利が大幅に向上する。

② DX基盤の展開 → コスト削減・管理精度向上

製造部門の原料・ロット・製造量の管理をデジタル化。製造原価の可視化と卸売部門とのデータ連携で経営管理の精度が向上する。

③ 仕入れ力の統合 → 仕入れコスト削減

一次卸としての仕入れボリュームに買収先の発注量加わることで、産地・メーカーに対するスケールメリットを生み、グループ全体の仕入れ単価を引き下げる。

④ 健康経営文化の移植 → 人材定着

優良法人5年連続認定・離職率ゼロの実績とノウハウを統合先に展開し、組織力を底上げ。

受賞歴・認定

健康経営優良法人認定 5年連続（2020～2024年）
健康経営優良法人 プライム500（2024年）
ひろしま企業健康宣言 健康づくり優良事業所 5つ星認定

後継者

常務取締役 高橋大登（29歳）

立命館大学経済学部卒業後、大手専門商社にてBtoB営業に従事。商流・物流の現場で培った法人営業力と取引先管理のノウハウを活かし、2021年アベックスフーズ入社。現在では同社にて加工事業・新工場PJ責任者・DX推進・M&A戦略企画を担当。



売上高目標推移

